

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（ 飯田エフエム放送株式会社

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得証拠があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらに理由を記入）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目													
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本（必須）			あらゆる場面で差別しない体制の整備と対応を行っている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本（必須）			就業規則へ明記 教育、相談体制を整えている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本（必須）			労働基準法等の改正内容を共有している。多様な働き方を許容する勤務体系の整備と対応を行っている								8.5 8.8						
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本（必須）			多様な人材が十分に活躍できる環境が既にある				4.4				8.7 8.8	10.2 10.3					
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本（必須）			行動内容の事前確認と調整をしている【予定】災害時における作業基準の策定			3					8						
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本（必須）		【予定】	メンタルヘルスに関する相談窓口を用意しているメンタルヘルスに関する方針の策定			3											
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本（必須）			多様な人材が十分に活躍できる環境が既にある					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3					
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本（必須）			職務、役割に応じた研修に積極的に参加させている				4	5.5			8	9					
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本（必須）			パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備対応済み					5.5			8.5	10.2 10.3					
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ（任意）			定期検診の実施および予防接種			3					8						
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本（必須）			一部廃棄物の種類と量を台帳管理											11.6	12.4		14.1
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本（必須）			グリーン電力の使用に当たり1日あたりのエネルギー量を把握							7.3						13	
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本（必須）			策定ツールなどを活用し温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画を策定している							7.2 7.3					12.4	13.3	
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本（必須）			法令で規制されている有害化学物質の把握と具体的削減計画の実施			3.9			6.3					11.6	12.4		

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには入力不要)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目													
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
																				
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			ビニールやペットボトル等の削減 環境に配慮したサービスなどの選択						6.6								
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			リサイクル可能品の分別、再生紙の使用、再生PCの活用												12.5		14.1
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	水源の把握、使用量削減目標の策定						6.4 6.6								
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			環境啓発番組を実施する中で、具体的に環境負荷低減の取組の実施と啓発 (web, FM放送)			3.9			6	7					12	13.3	14
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			グリーン電力の使用												12.6		
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			地域産品の優先調達【予定】 非合法材未使用の確認							7.2						13	
21	公正な事業慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			地域産品の優先調達【予定】 非合法材未使用の確認												12.2	13	14
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			汚職、贈収賄禁止等含む行動規範の整備と指導をしている														
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			不正競争行為を含む行動規範の整備と指導をしている														
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			各種著作権管理団体と契約締結しており、契約に基づき運用している								8.2 8.3	9					
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			個人情報に関する基本方針を定めて公表し体制を整えている														
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)		【予定】	使用機材メーカーに確認をする														
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応 (ハラスメント・汚職・贈収賄防止) について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	取引先など人権侵害防止等の取組状況の確認					5		8		10		12	13	14	
28		【パートナーシップ構築宣言】 (R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト: https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	主旨内容を理解した上で宣言に取り組む			3				8	9	10					

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の場 合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらに理由を記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目													
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			放送内容のチェック及び第3者による審議機関による確認を			3.9									12.4		
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			放送内容のチェック及び第3者による審議機関による確認をしている									9					
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			環境負荷低減の取組の実施と啓発 (web, FM放送)						6						12	13	14
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			環境負荷低減の取組の実施と啓発 (web, FM放送)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
33	社会 地域 貢献・ 貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			平常時は地域情報、災害などの緊急時には防災、減災に努めるための放送を実施				4					9		11	12		14
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			県、市などの防災訓練を支援参加、ラジオ工作教室など教育面でのサポートも実施				4							11			14
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用 (地消地産、地産外商) している	チャレンジ (任意)			地域情報及び商品の放送による伝播及び積極的利用								8	9		11	12	13	
36	組織 体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本 (必須)			経営理念の明文化と揭示、共有								8	9					
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			免許制による放送事業者の為、法令遵守はすべての基本となる。														
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			責任者が対応している														
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本 (必須)			適宜ステークホルダーと対話し、自社活動の影響の把握と具体的内容に努めている														
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			災害時に関する具体的な行動マニュアルと備品の整備がされている														
41		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	CSR方針の策定整備														
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)		【予定】	BCP方針の策定 整備									9		11		13 13.1	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)		【予定】	計画を策定する								8	9					

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能。後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレント州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定